

衝撃吸収フロアー クラウドステージ 商品説明・Webハウス操作マニュアル

2025年 1月 8日

パナソニック ハウジングソリューションズ株式会社

■商品説明編

①商品基本仕様	… P 4
②施工概要	… P 5
③見積具体例	… P 6

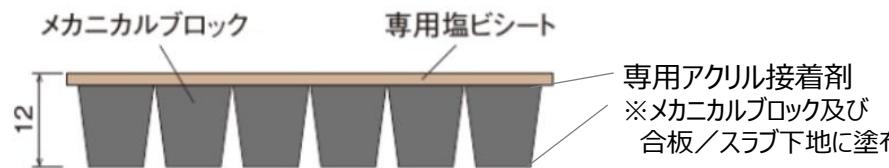
■Webハウス操作説明編

①積算における従来床材との相違点	
1.従来床材と衝撃吸収フロアーの考え方の違い	… P 8
2.従来床材と衝撃吸収フロアーの積算方法の違い	… P 9
②全体操作フロー	
1.画面構成	… P 10 ~ P 11
2.選定項目内容	… P 12
3.部屋設定の有無による考え方の違い	… P 13
4.部屋設定ありの場合	… P 14 ~ P 15
5.部屋設定なしの場合	… P 16
6.オプション入力方法	… P 17
7.長さ入力	… P 18
③選定時の注意点	
1.部屋設定時の形状について	… P 19
2.センター基準・片側基準のシート割付について	… P 20 ~ P 23
3.特殊な算出ルール：シートの算出方法について	… P 24 ~ P 26
4.下限・上限値について	… P 27
5.提案ボードへの表現	… P 28

■商品說明編

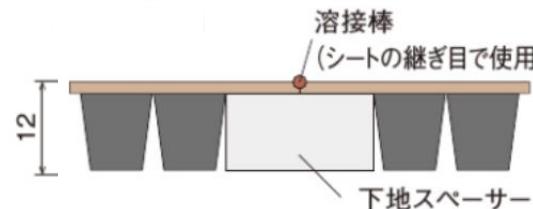
■基本構造

専用塩ビシートとメカニカルブロックの2層。



※シート継目部分

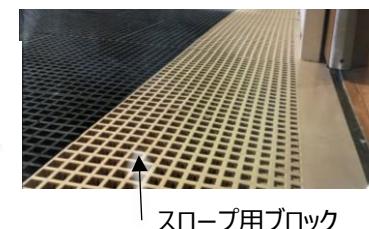
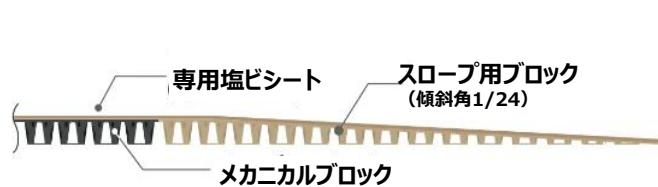
シート同士は溶接棒で溶接。下地はスペーサーを設置。



※スロープ部分

オプション

メカニカルブロックと既存床との段差解消のため、スロープ部材をオプションで用意。



■部材一覧

	部材	品番	入数	サイズ
必要部材	専用塩ビシート(3柄)	KGFTVS91□	1巻	1820×9000mm/巻 t2
	メカニカルブロック	KGFTMB18	18枚 (1.62m ²)	300×300mm t10
	専用アクリル接着剤	KGFTGE15	1個 (約33m ² 分)	15kg
必要部材 ※継目がある場合	下地スペーサー	KGFTUS05	5枚 (5000m分)	60×1000mm t10
	溶接棒(3色)	KGFTYB50□	1巻	50m/巻 Φ3.5
オプション 部材	スロープ用ブロック	KGFTSB04	4枚	300×300mm t10

※品番の□には色記号が入ります。

DL:ブラウンウォールナット柄 ML:ナチュラルオーク柄 LL:グレージュウォールナット柄

■施工の流れ



① 下地材へ接着剤塗布

② メカニカルブロック
貼り付け

③ メカニカルブロックへ
接着剤塗布

④ 専用塩ビシート
貼り付け

⑤ 溶接棒で接合

■施工対象下地

コンクリート直貼

捨貼り合板

※既存床材への上貼りは不可です

■施工説明書/施工動画



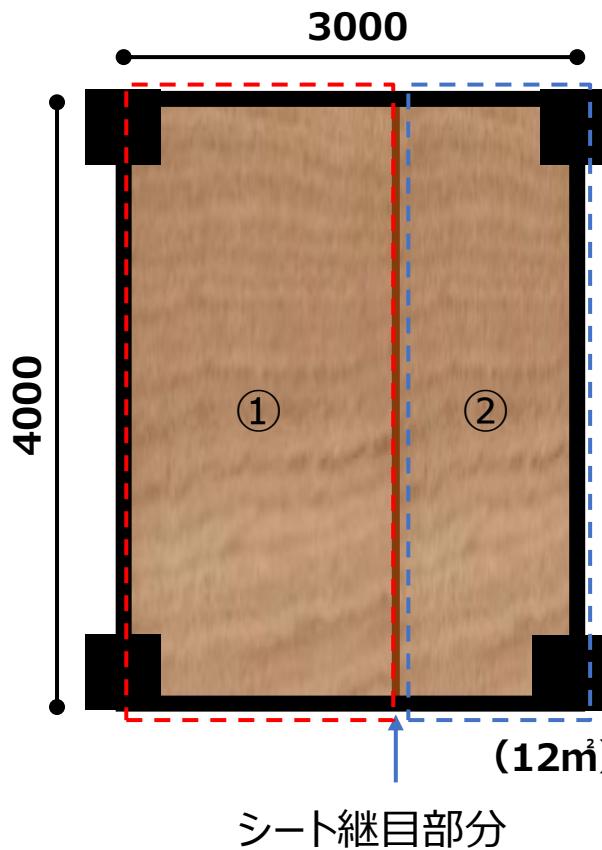
施工説明書



施工動画

■ 3000×4000、12m²の部屋の算出数量

(シート: 垂直貼り・片側基準の場合)



	入数	サイズ	算出数量
専用塩ビシート	1巻	1820×9000mm/巻 t2	1
メカニカルブロック	18枚 (1.62m ²)	300×300mm t10	8
専用アクリル接着剤	1個 (15kg・約33m ² 分)	—	1
下地スペーサー	5枚 (5000mm)	60×1000mm t10	1
溶接棒	1巻	50m/巻 Φ3.5	1

■ 算出数量の考え方

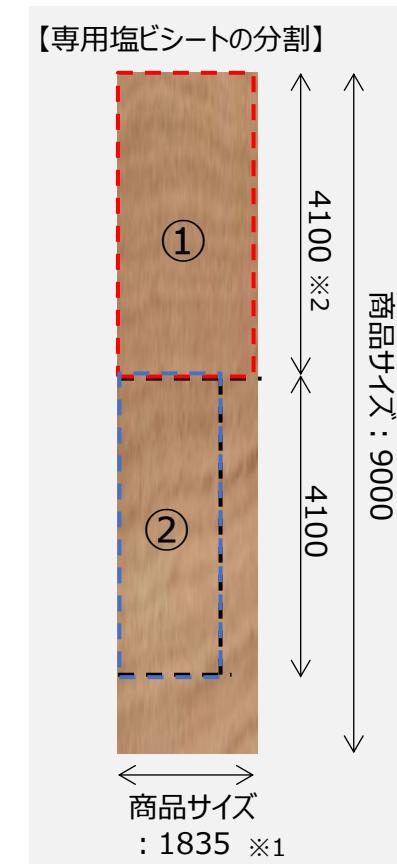
専用塩ビシート：
1枚を分割する(右図) ➔ 1枚

メカニカルブロック：
 $12m^2 \div 1.62m^2 = 7.4$ ➔ 8ケース

専用アクリル接着剤：
塗布面積12m² ➔ 1個

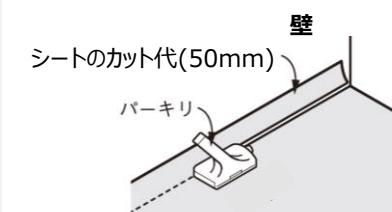
下地スペーサー：
継目長さ4m設置 ➔ 1セット

溶接棒：
継目長さ4m設置 ➔ 1個



※1 商品の製造過程で
約15mmの余剰分があるため、
ハウスのシステム上は、
幅1835mmとして算出します。

※2 壁際のシートは、
カット代(50mm)を設けるため、
部屋寸法より長いシート寸法にて
算出します。



■Webハウス操作説明編

1.従来床材の考え方と衝撃吸収フロアーの考え方の違い

衝撃吸収フロアーは、従来の木質床材と算出の考え方が異なります。

自動算出される部材・算出方法・ロス率の観点では下表のようになります。

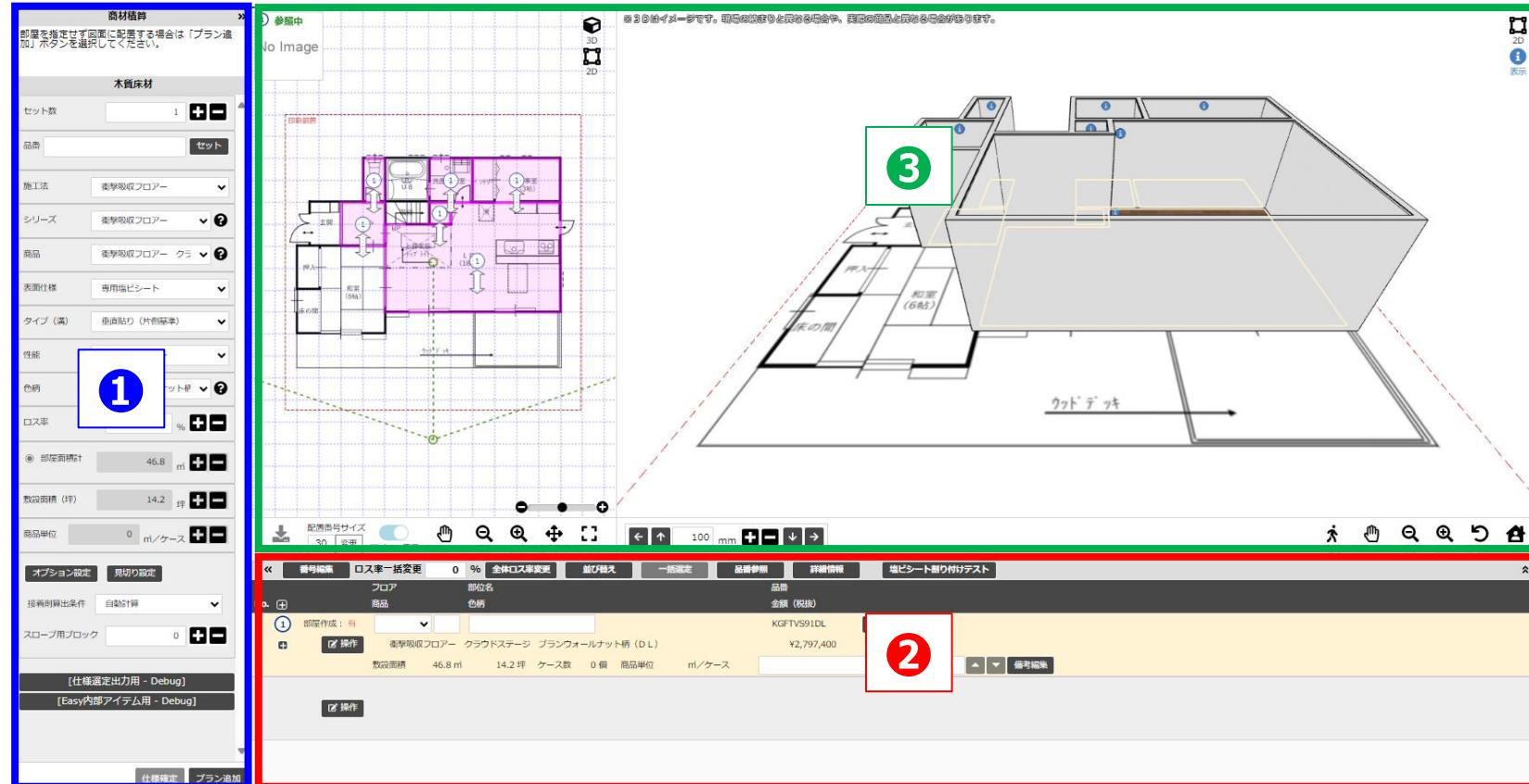
	従来床材	衝撃吸収フロアー (クラウドステージ)
自動算出部材	①木質床材 ②接着剤（任意） ③オプション部材（任意、見切り等）	①塩ビシート ②メカニカルブロック ③専用アクリル接着剤 ④下地スペーサー（手動切替可） ⑤溶接棒（手動切替可） ⑥スロープ用ブロック（手動入力）
算出方法	面積にて算出 or ケース数にて算出	<u>●部屋の1辺ごとの長さにより算出</u> ①塩ビシート/④下地スペーサー/⑤溶接棒 <u>●面積にて算出</u> ②メカニカルブロック/③専用アクリル
ロス率の考え方	10%（デフォルト）※任意変更可	0% <u>※任意変更不可</u>

2.従来床材と衝撃吸収フロアの積算方法の違い

従来床材と衝撃吸収フロアでは積算方法が下図の通り異なります。（※詳細フローはP14～P15参照）

	従来床材	衝撃吸収フロア (クラウドステージ)
施工法	<ul style="list-style-type: none">・一般住宅用・マンション用・公共・商業施設用	<ul style="list-style-type: none">・衝撃吸収フロア（クラウドステージ）
タイプ（溝）	<ul style="list-style-type: none">・なし・1本溝・2本溝 <p>※商品により異なる</p>	<ul style="list-style-type: none">・垂直貼り（片側基準）・垂直貼り（センター基準）・水平貼り（片側基準）・水平貼り（センター基準）
接着剤算出条件	<ul style="list-style-type: none">・未選択・おすすめ（ウレタン）・おすすめ（シリコン）・不要・手入力	<ul style="list-style-type: none">・自動計算 (下地スペーサー・溶接棒を自動選定)・手入力 (下地スペーサー・溶接棒を任意数値入力)
明細エリア	部屋設定有無にかかわらず変化なし	部屋設定なしの場合、部屋サイズ入力が必要

1. 画面構成 (部屋設定あり)

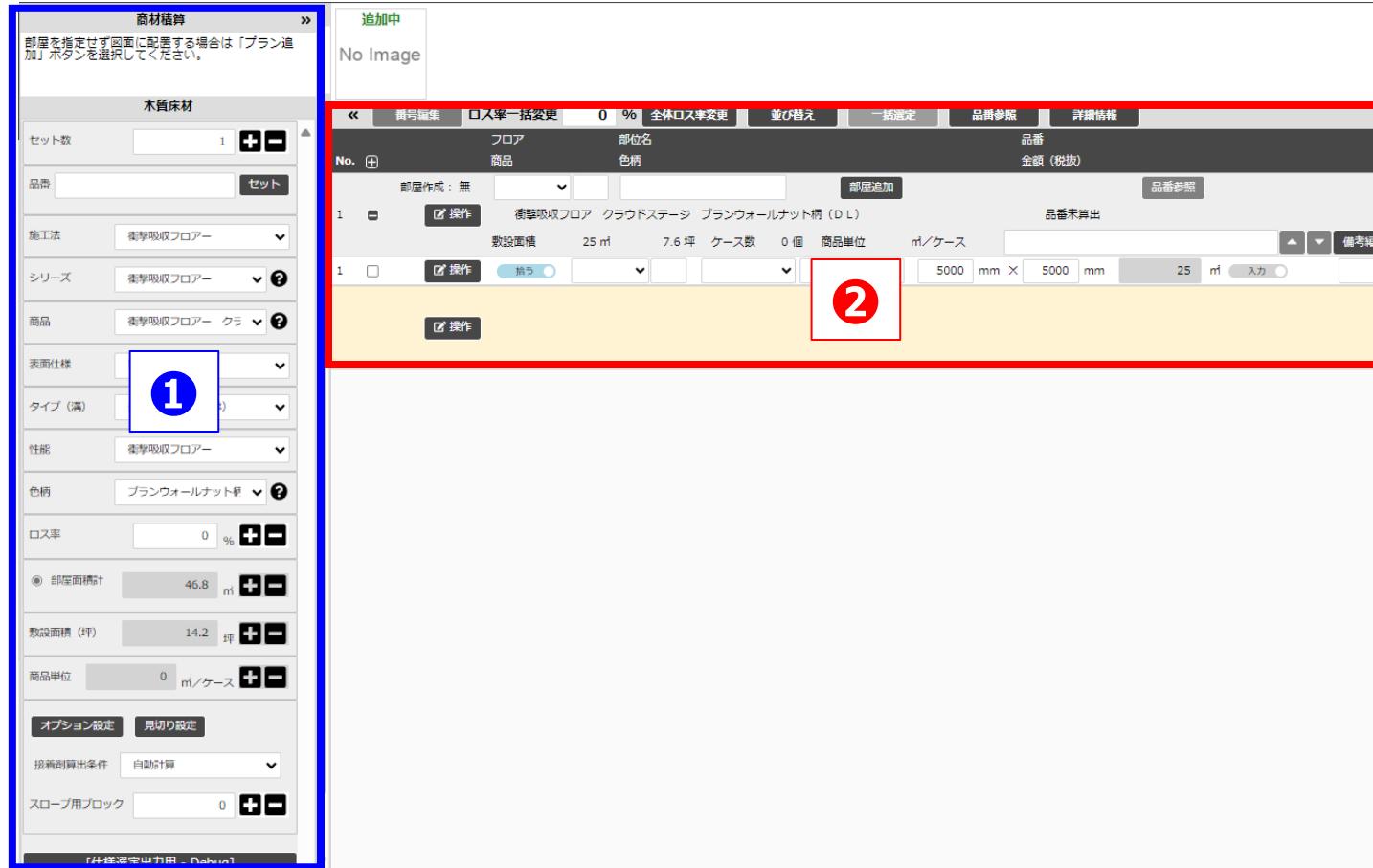


① : 仕様選定エリア 詳細の仕様を選択します。

② : 明細一覧エリア 選定した明細が表示されます。

③ : 図面エリア

1.画面構成（部屋設定なし）



①：仕様選定エリア
詳細の仕様を選択します。

②：明細一覧エリア
選定した明細が表示されます。

2.選定項目内容

商材積算

部屋を指定せず図面に配置する場合は「プラン追加」ボタンを選択してください。

木質床材

セット数 1

品番 セット

施工法 衝撃吸収フロアー

シリーズ 衝撃吸収フロアー ?

商品 衝撃吸収フロアー クラウドステージ ?

表面仕様 専用塩ビシート

タイプ(溝) 垂直貼り(片側基準)

性能 衝撃吸収フロアー

色柄 ブラウンウォールナット柄 ?

ロス率 0 %

部屋面積計 46.8 m²

敷設面積(坪) 14.2 坪

商品単位 0 m²/ケース

オプション設定 見切り設定

接着剤計算出条件 自動計算

スロープ用ブロック 0

〔仕様選定出力用 - Debuga〕

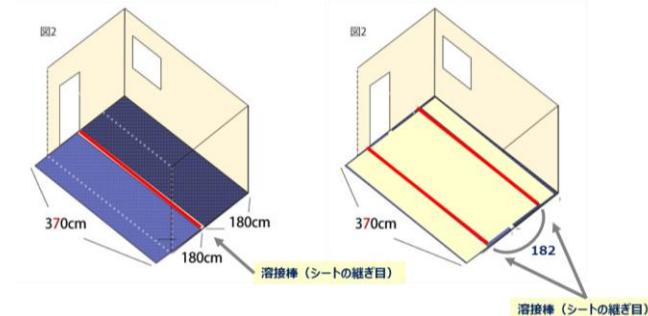


項目	選定内容
品番	※衝撃吸収フロアーでは使用不可
施工法	衝撃吸収フロアー
シリーズ	衝撃吸収フロアー
商品	衝撃吸収フロアー クラウドステージ
表面仕様	専用塩ビシート
タイプ(溝)	<ul style="list-style-type: none"> 垂直貼り(片側基準) 任意選択 垂直貼り(センター基準) 水平貼り(片側基準) 水平貼り(センター基準)
性能	衝撃吸収フロアー
色柄	<ul style="list-style-type: none"> ブラウンウォールナット柄 任意選択 ナチュラルオーク柄 グレージュウォールナット柄
ロス率	0 % (変更不可)
部屋面積計	間取り図あり: 自動計算 ※詳細9P 間取り図なし: 任意入力 ※詳細15P
接着剤条件算出	<ul style="list-style-type: none"> 自動計算 任意選択 手入力
オプション	<ul style="list-style-type: none"> 下地スペーサー ※手入力の場合のみ 溶接棒 ※手入力の場合のみ スロープ用ブロック

補足:「タイプ(溝)」の選定内容



片側基準



センター基準

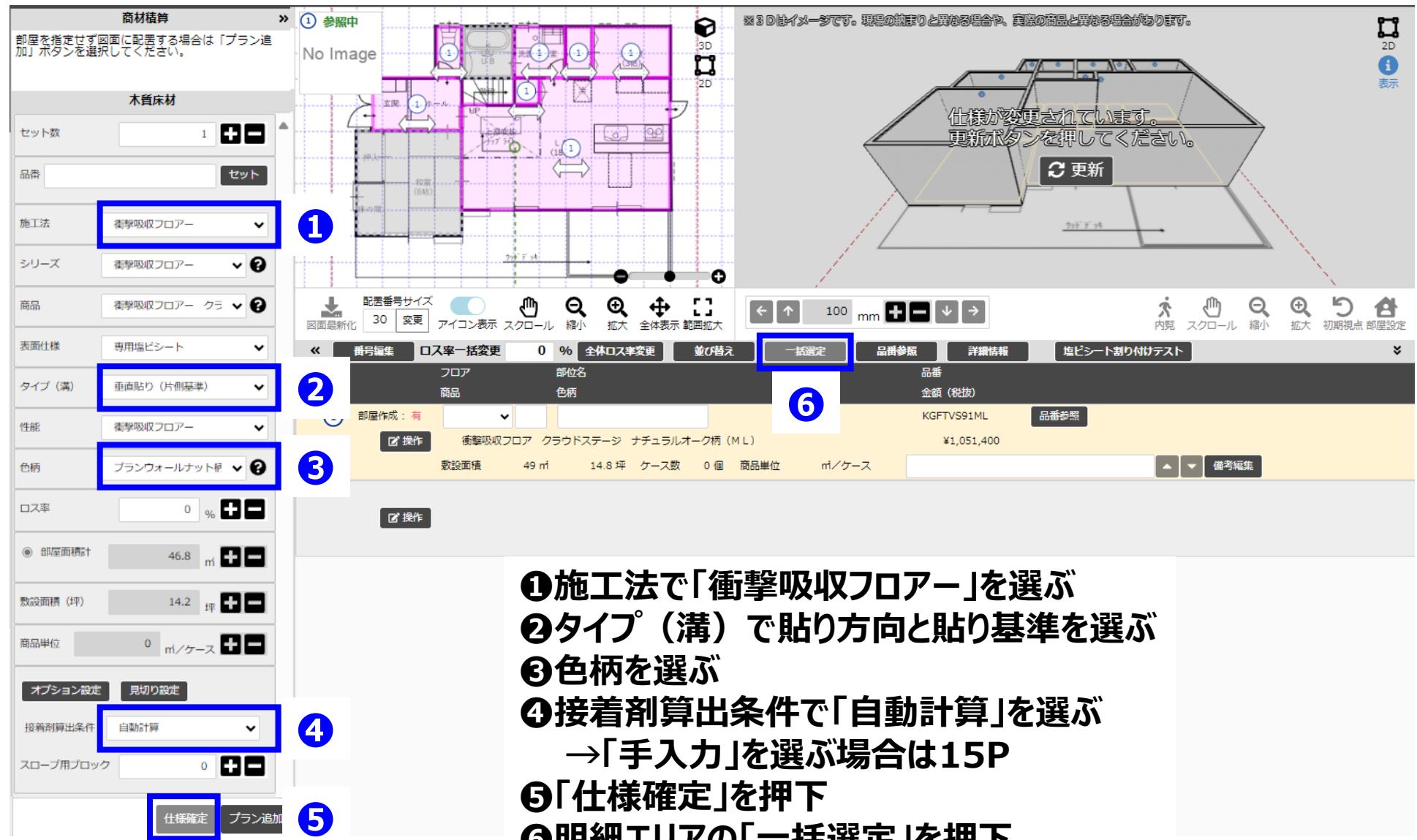
溶接棒(シートの継ぎ目)

3.部屋設定の有無による考え方の違い

間取り図積算において部屋設定の有無により、衝撃吸収フロアーは下表のとおり考え方が異なります。

算出部材	算出方法	
	部屋設定あり	部屋設定なし
①塩ビシート	部屋ごとに算出	総面積入力後、各部位の長さを入力することで算出
②メカニカルブロック		
③専用アクリル接着剤		部位の総面積から算出
④下地スペーサー	部屋の中で算出されるシートの継ぎ目の長さ分を算出 ※手動切替可	総面積入力後、各部位の長さを入力することで算出 ※手動切替可
⑤溶接棒		
⑥スロープ用ブロック		手動入力のみ

4. 部屋設定あり



4. 部屋設定あり

接着剤算出条件で「手入力」を選んだ場合、
オプション項目に「下地スペーサー」と「溶接棒」が表示されます。
任意の数値を入力し、「仕様確定」を押下してください。
(自動算出の場合は部屋長さから自動で算出されます)

5. 部屋設定なし

1 施工法で「衝撃吸収フロアー」を選ぶ
 2 タイプ（溝）で貼り方向と貼り基準を選ぶ
 3 色柄を選ぶ
 4 部屋面積計（任意面積）を入力する
 5 接着剤算出条件で「自動計算」を選ぶ
 →「手入力」を選ぶ場合は15P参照
 6 「仕様確定」を押下
 7 「プラン追加」を押下
 8 明細エリアに部屋サイズを入力
 9 明細エリアの「一括選定」を押下

<Point>

- ④で入力した部屋面積計は、
- ⑧で入力した部屋サイズを元に再計算されます。

5. オプション入力方法



下地スペーサー・溶接棒は、接着剤条件設定を
「手入力」にすることで手動で数値入力が可能となります。
スロープ用ブロックは、接着剤条件設定の選定内容にかかわらず
数値入力が可能となります。

6.長さ入力



部屋作成：無

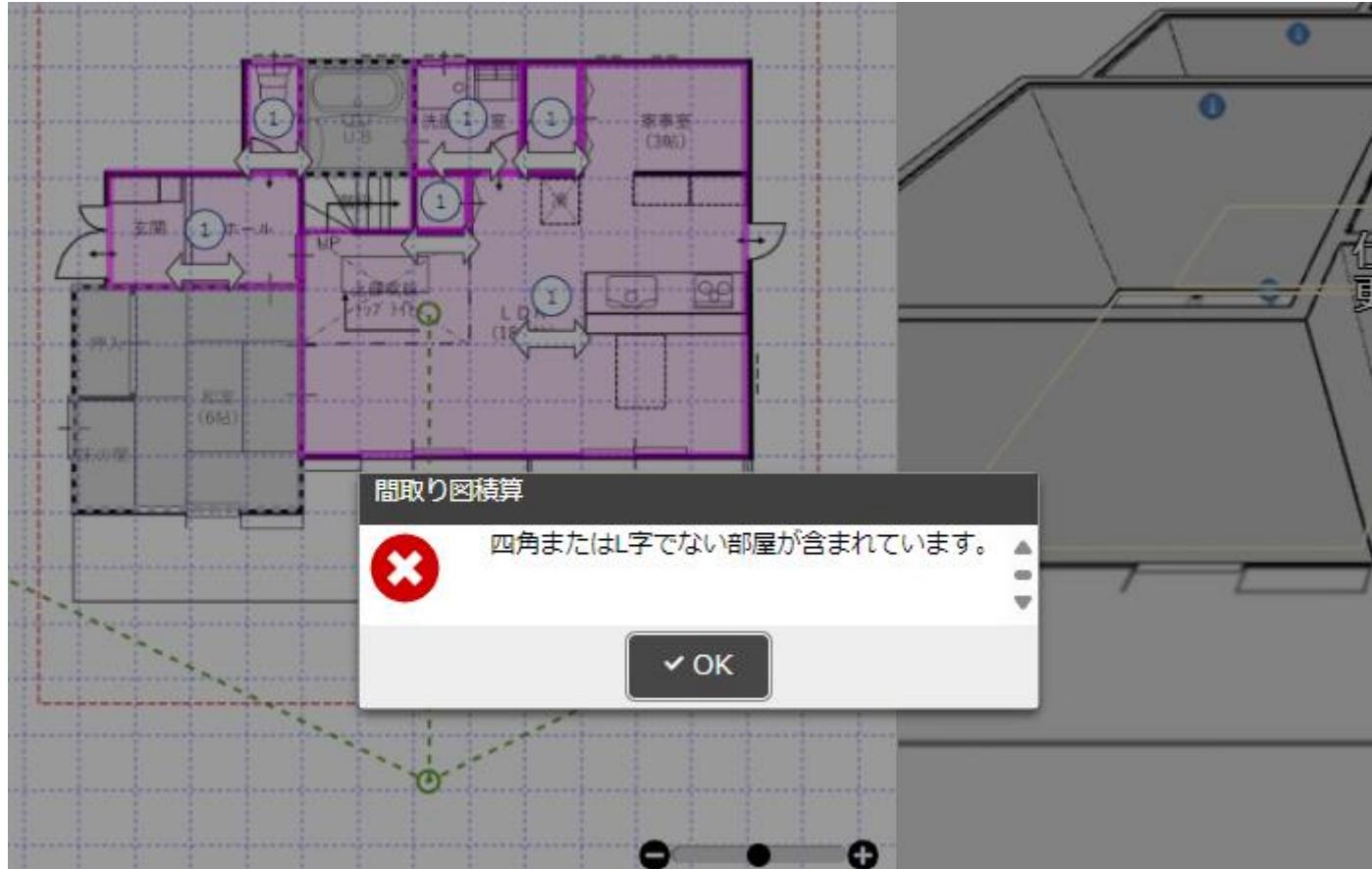
2 操作 衝撃吸収フロア クラウドステージ ブランウォールナット柄 (D L)

設設面積 50 m 15.2 坪 ケース数 0 個 商品単位 m/ケース

1 操作 捨う 7071 mm × 7071 mm 50 m 入力

部屋設定なしの場合は、部屋長さの情報を確認の上、修正が必要です。
初期値は部屋面積から計算した正方形の部屋として入力されます。
数値変更後、カーソルを外すことで、面積が再計算されます。

1. 部屋設定時の形状について

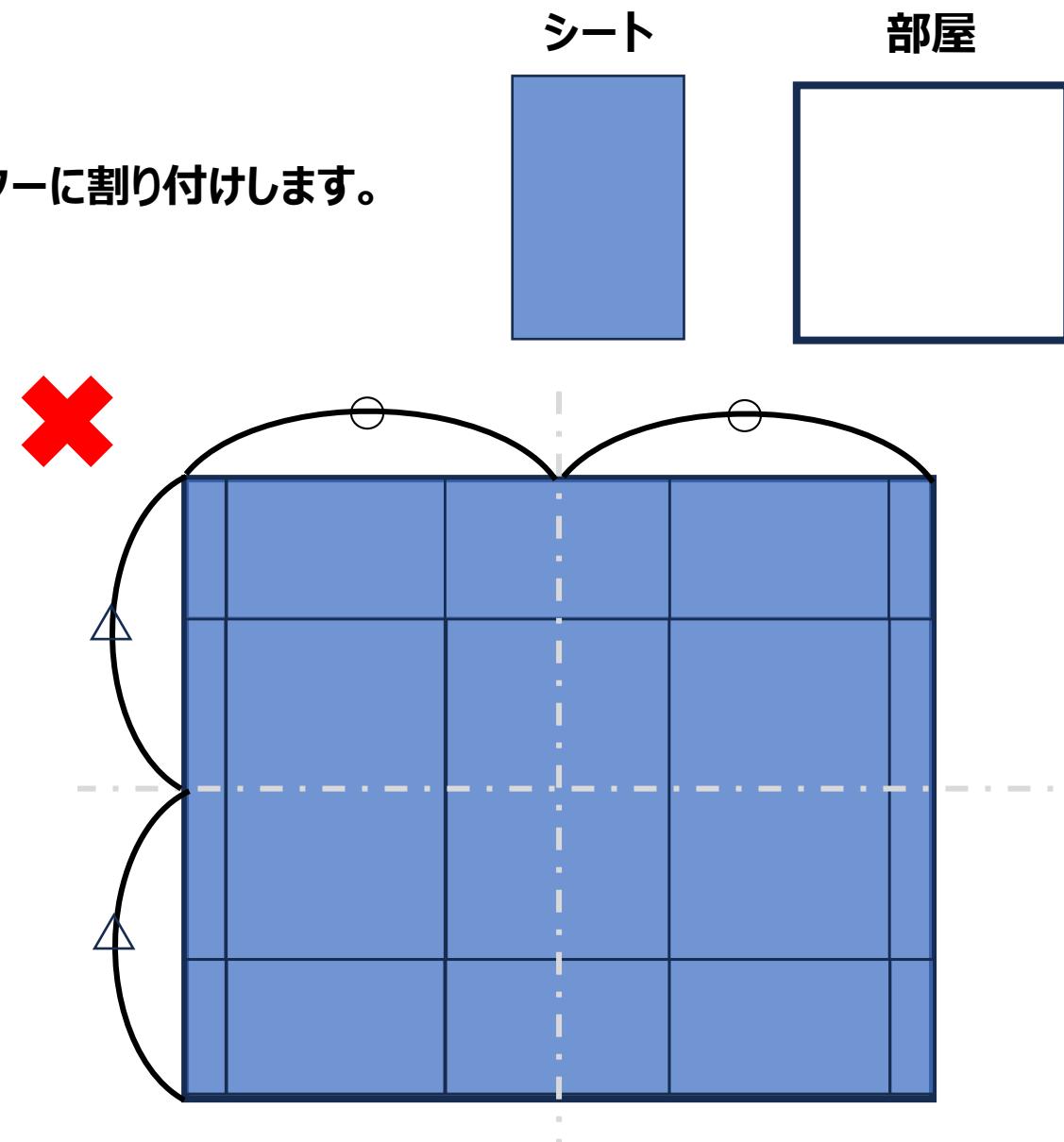
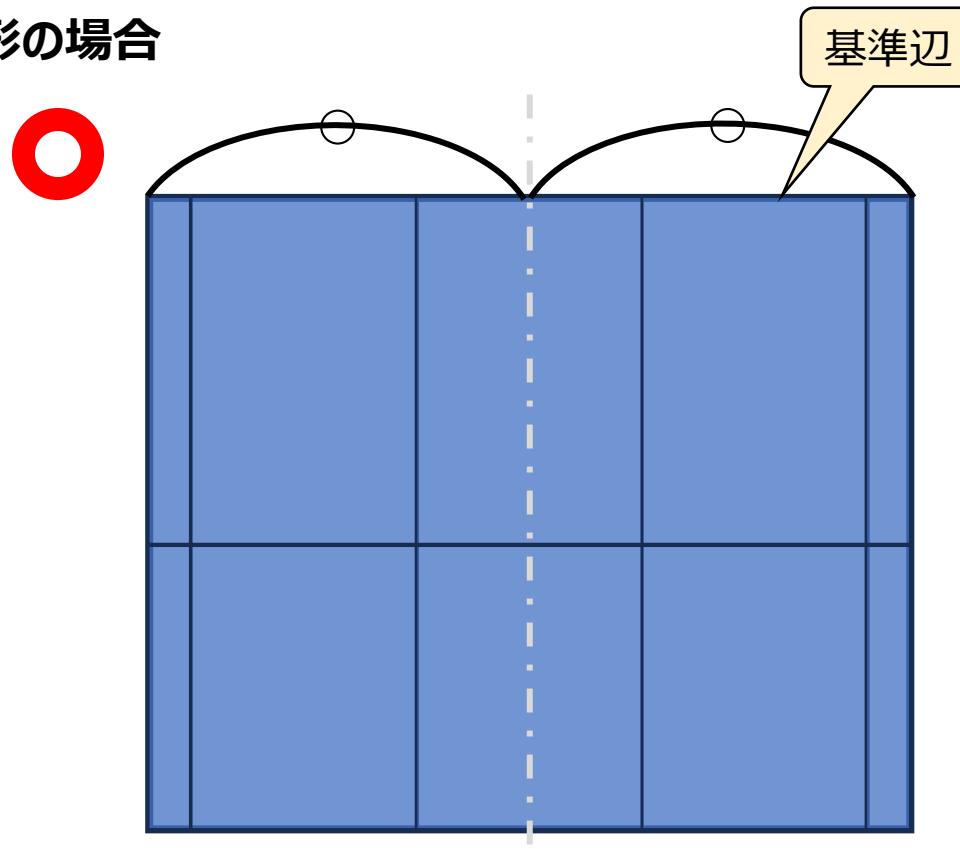


衝撃吸収床フロアでは、部屋の長さから、
厳密に必要部材を算出させるため、
四角またはL字以外の部屋が存在する場合、
お見積りできません。

2.センター基準・片側基準のシート割付について

センター基準について、垂直方向の場合、
部屋の最大矩形の上辺（基準辺）に対して2分割したセンターに割り付けします。

四角形の場合



シート



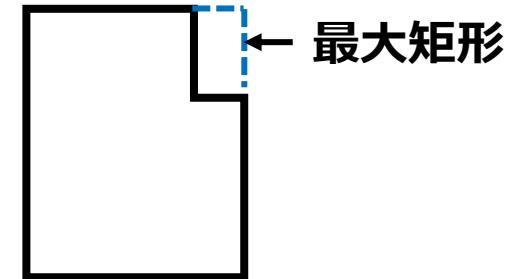
部屋



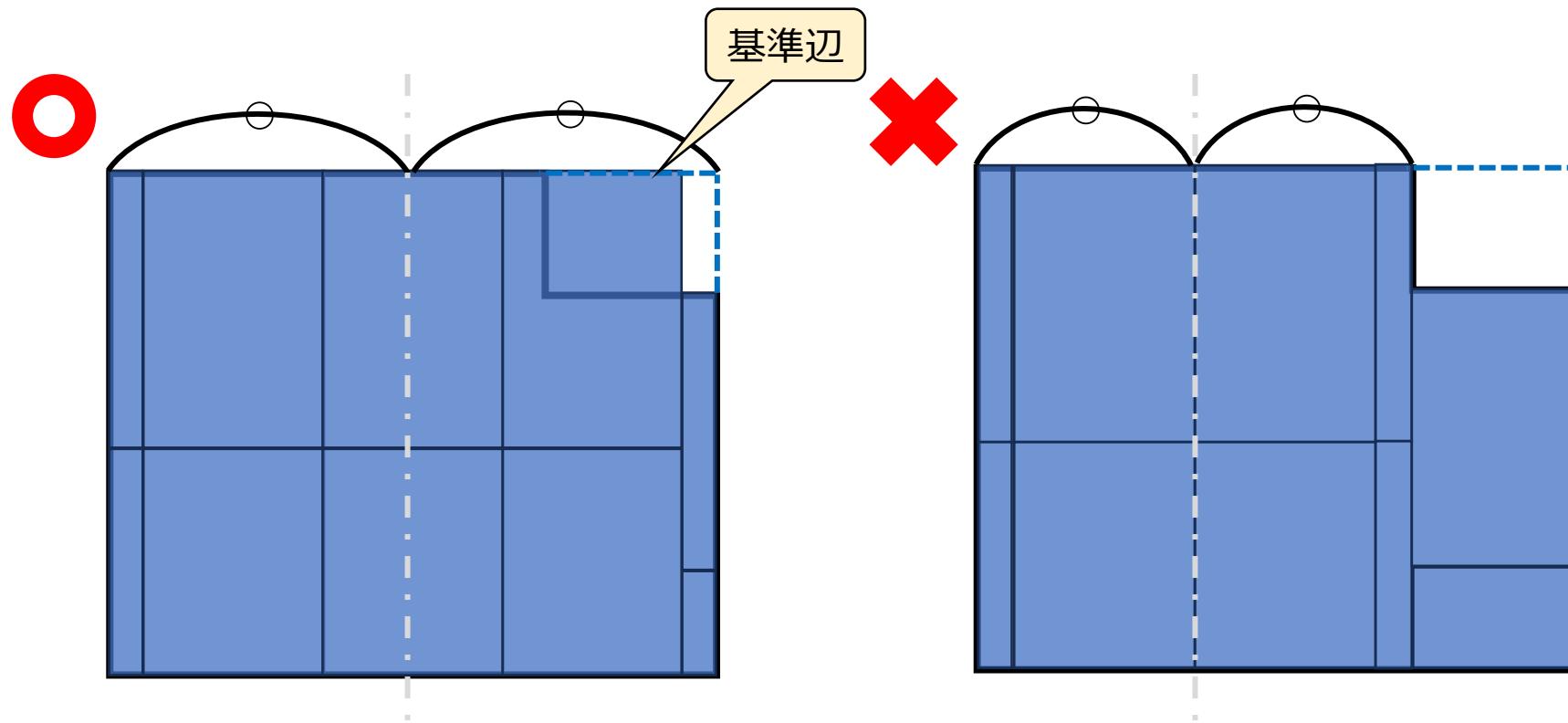
2.センター基準・片側基準のシート割付について

センター基準について、垂直方向の場合、
部屋の最大矩形の上辺（基準辺）に対して2分割したセンターに割り付けします。

部屋（L字）



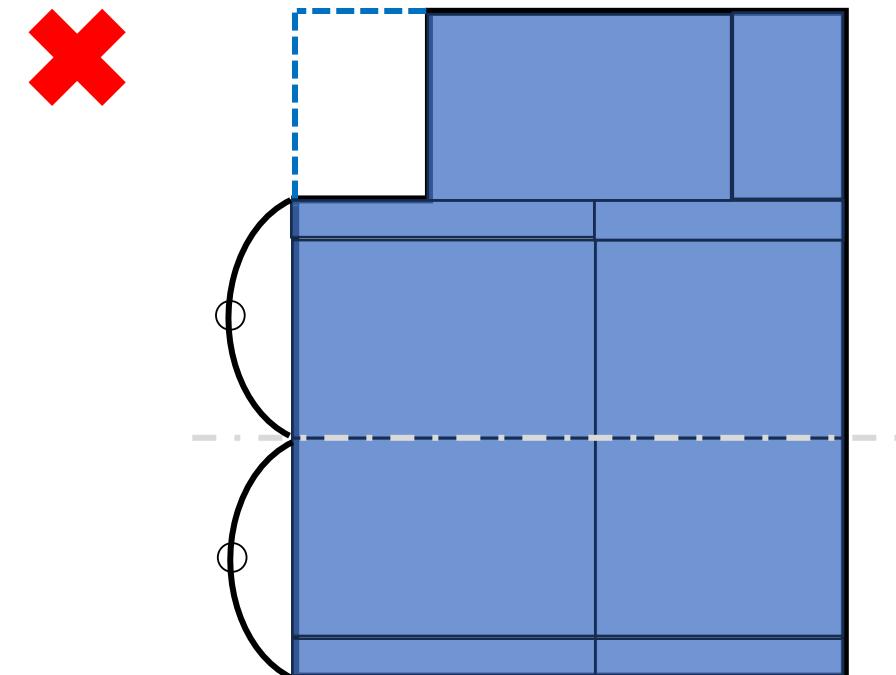
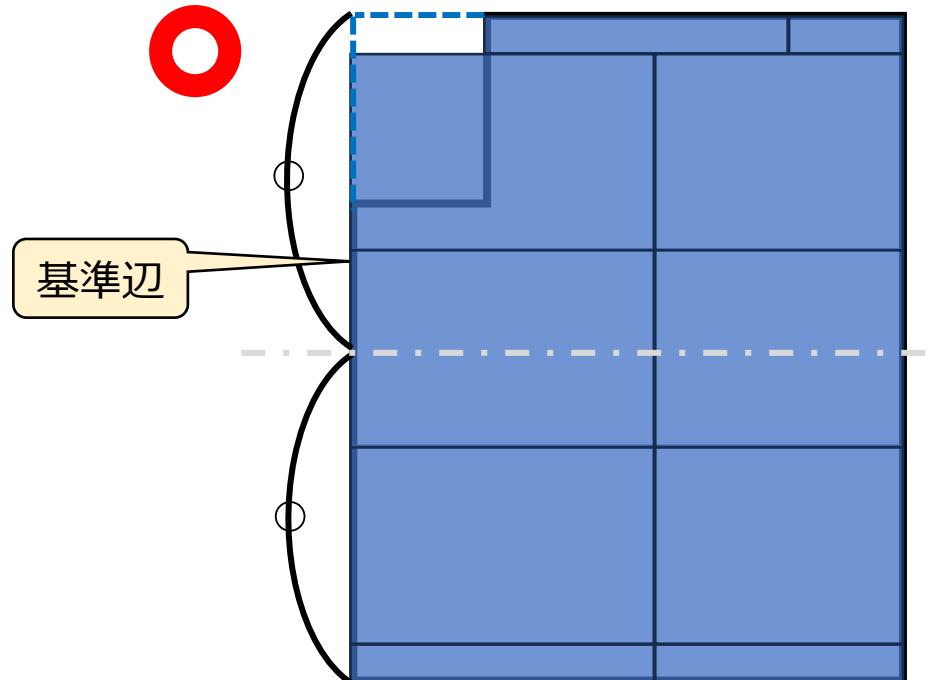
L字の場合（垂直）



2.センター基準・片側基準のシート割付について

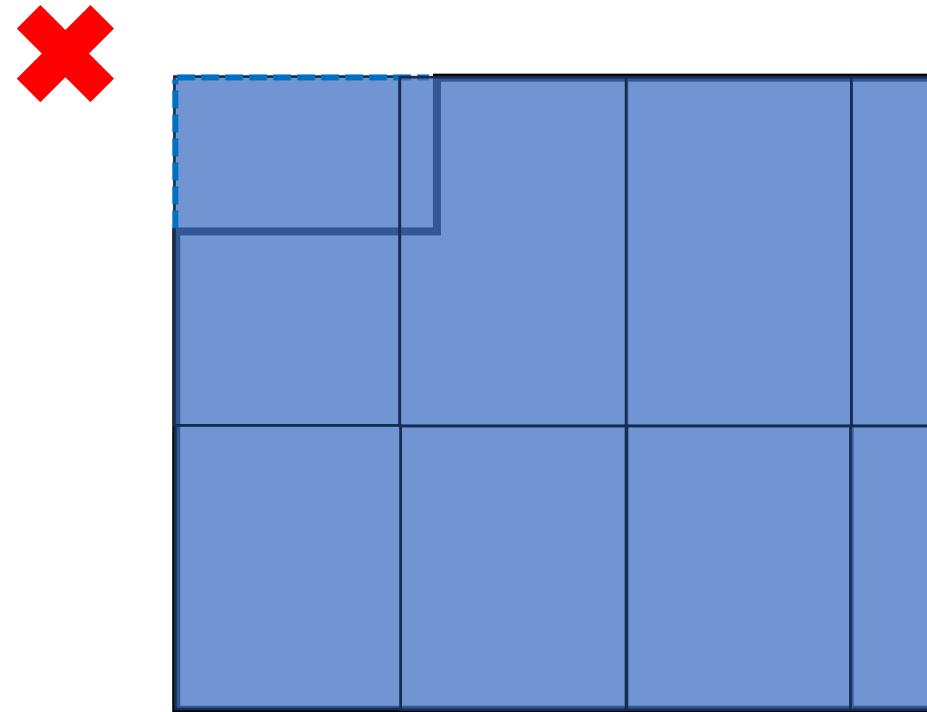
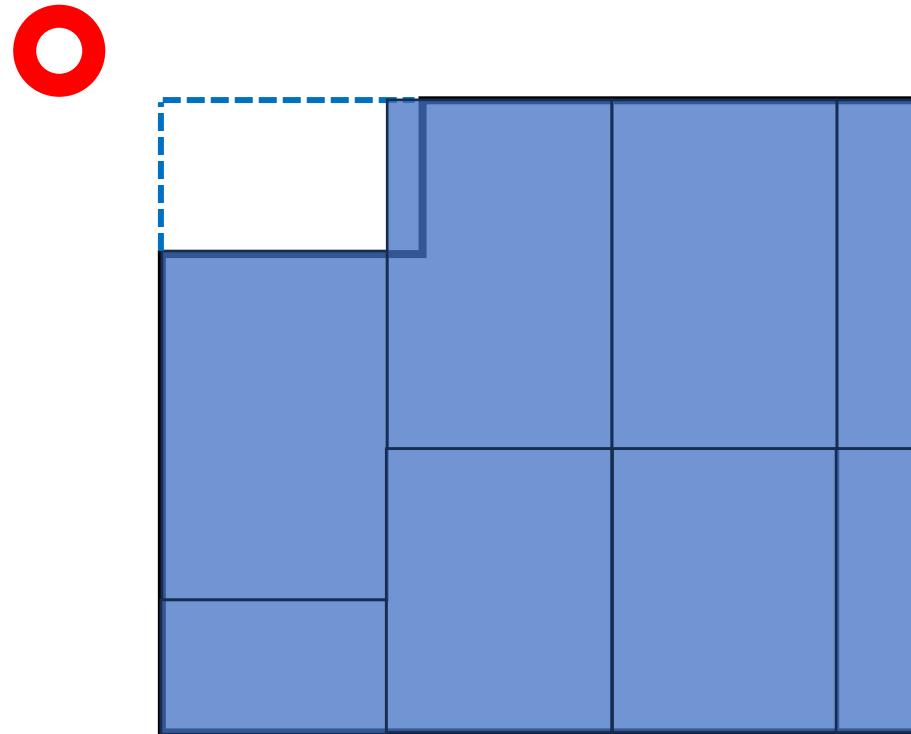
センター基準について、水平方向の場合、
部屋の最大矩形の左辺（基準辺）に対して2分割したセンターに割り付けします。

L字の場合（水平）



2.センター基準・片側基準のシート割付について

また、片側基準について、左の頂点よりシートを割り付けます。
L字の場合、左右上辺の頂点が部屋の上部に当たる形で割付きます。

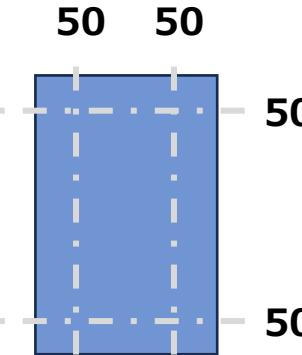


3. 特殊な算出ルール：シートの算出方法について

(1) 分割の考え方について

シートの分割は左右上下に計100mmの余白を確保できればシステム上再利用可能としております。

余白の考え方



シート算出例： 幅方向：合計7081mm

1755 × 8920	1775 × 8920	1775 × 8920	1775 × 8920	1 × 8920
			1775 × 8940	
			1775 × 8940	
			1775 × 8940	
			1775 × 8920	

長さ方向：合計44660mm

シート算出枚数：

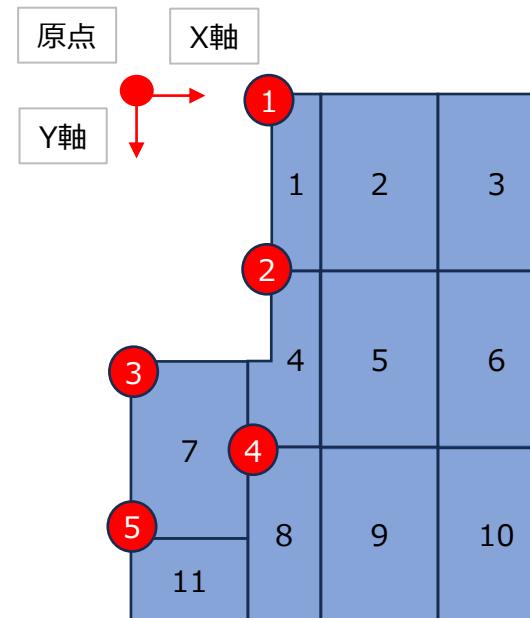
$$4 \times 5 = 20 \text{シート} + 1 \text{シート (5分割)} \\ = 21 \text{シート}$$

3. 特殊な算出ルール：シートの算出方法について

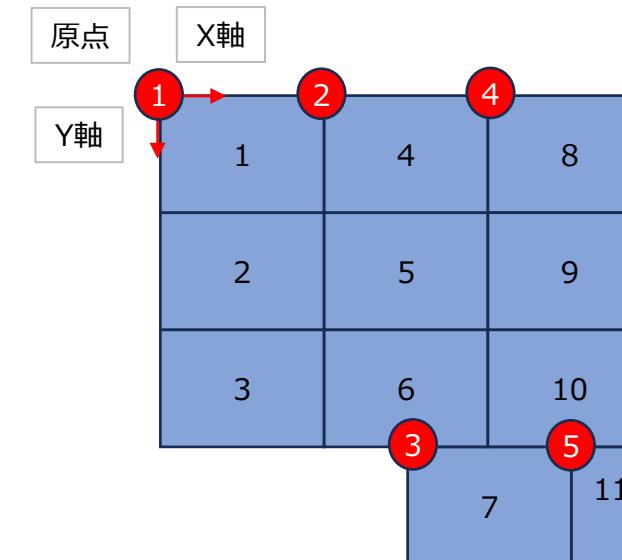
(2) 部屋形状がL字の場合のシート割付について

垂直貼りの場合、最大矩形の左上を原点とし、Y軸の左上頂点座標が最も小さいところから割り付けられます。
また、水平貼りの場合、最大矩形の左上を原点とし、X軸の左上座標が最も小さいところから割り付けられます。

垂直貼りの場合



水平貼りの場合



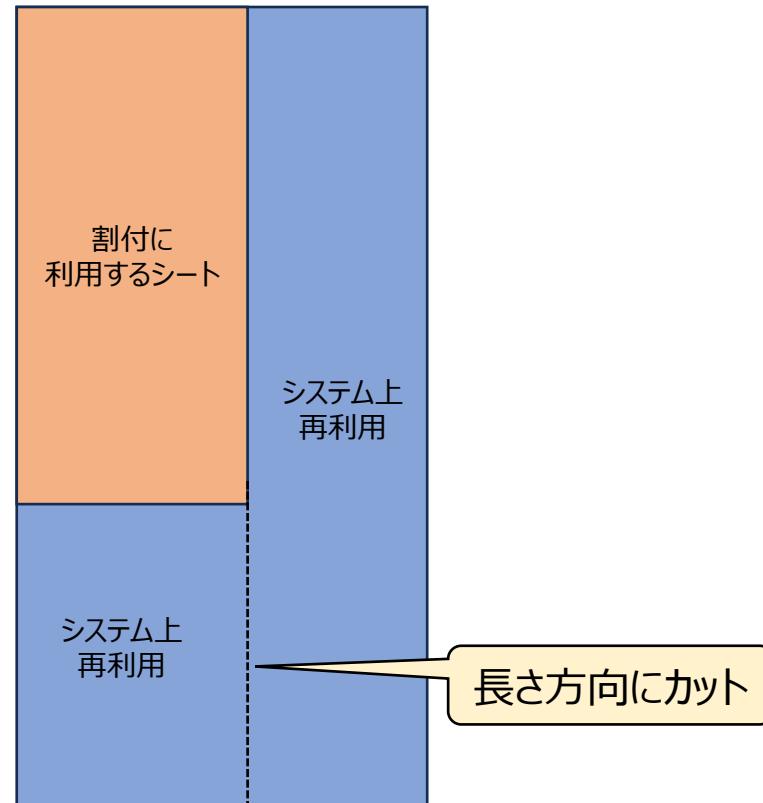
3. 特殊な算出ルール：シートの算出方法について

(3) シート余りの再利用の考え方について

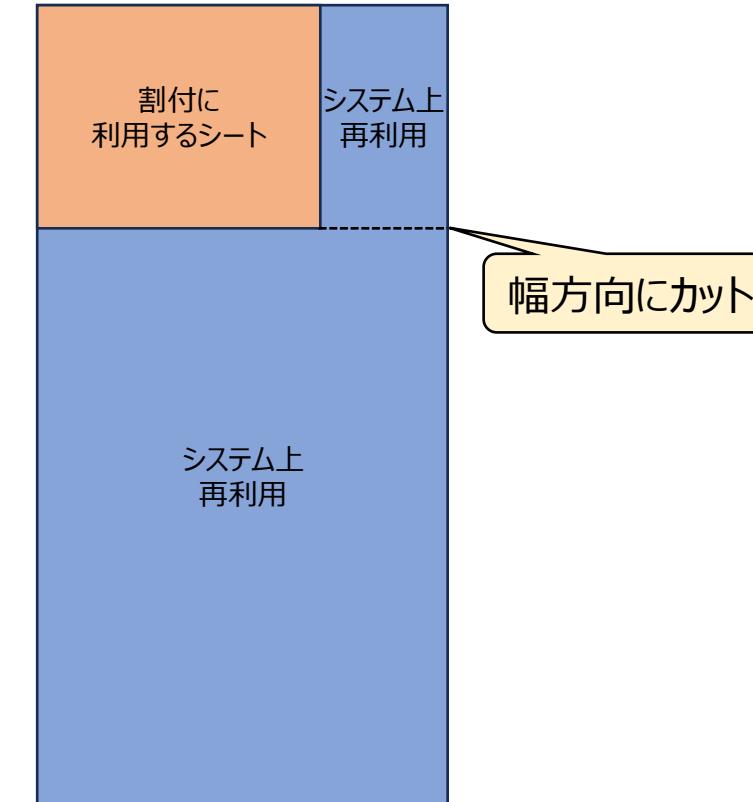
シートを再利用する場合、余剰の形状をL字から長方形にカットした上で再利用します。

縦長に切り抜く場合は長さ方向・横長に切り抜く場合は幅方向にシートをカットします。

割付に利用するシートが
縦長の場合



割付に利用するシートが
横長の場合



4. 下限・上限値について

部屋サイズの下限値（一辺の長さ）は225mmとなります。224mm以下の部屋は見積りできません。

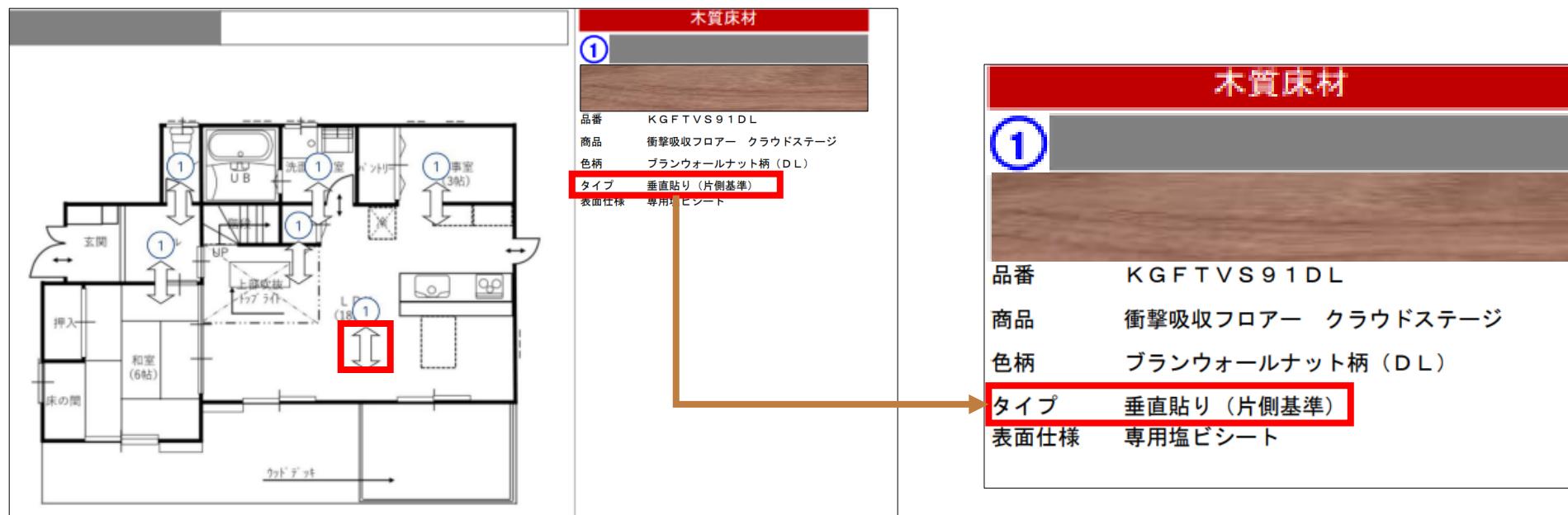
また、部屋サイズの上限値（一辺の長さ）は10,000,000mm（100m）となります。

10,000,000mm（100m）を超える部屋は作成できません。

5. 提案ボードについてへの表現

衝撃吸収フロアの提案ボードは下図の通り表現されます。
変更点は下記のとおりです。

	従来床材	衝撃吸収フロア (クラウドステージ)
タイプ	表記なし	貼り方向（垂直/水平） 貼り基準（片側・センター）
間取り図	間取り番号のみ	間取り番号 + 貼り方向の矢印を表示



くらしの「ずっと」をつくる。

